



N.S. ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1085

30.12.2023 (134)

**ミヒャエル・キューネン (Michael
Kühnen**

政治的な兵役： SAの伝統と精神

第8部

II. サの精神 政治家十戒

伝統を採用し、その有意義な-また組織的な-適用と実現を図ることは重要である。しかし、これらすべてが、淡い精神的なゲームや紙のアイデアにとどまってはならない：歴史的に強力なものになるためには、内面的な態度を加えなければならず、それなしには何も重要なものにならないのである。

国家社会主義にとって-序文で指摘したように-兵士は、民族共同体の自然な分裂の重要な一部であり、闘争の時には、戦闘的な国家社会主義者の戦闘的な組織形態であるだけでなく、兵士は、党がそのシュトルム-アッペイルングに期待することを達成できるように、戦闘員に非常に具体的な要

求をする倫理原則、人生に対する態度である！

これらの要求は、1977年の夏に「政治的兵士の十戒」としてまとめられ、それ以来、私たちのコミュニティで完全に受け入れられるようになりました。それは、戦時中と戦後の政治的兵士の豊富な経験と生活態度から生まれたものであり、SA戦士の経験と冒険、「長い夜」の活動家、そして何よりも全国の青年運動の経験に基づいている。苦闘、挫折、苦難と犠牲、迫害、禁止、弾圧の長い年月であったが、同時に、統一され、全国的に機能する運動への飛躍の年月でもあった。十戒」は残り、より多くの新しいブラウンシャツの兵士を捕らえました。それらは、抽象的な信念、生活とは異質な道徳的概念、達成不可能な要求ではなく、闘争者の直接的な経験、闘争の必要性に対する洞察から生まれたものであり、生活の中で証明されており、したがって、我々の政治的兵士の生活の基礎を形成するものであった：

FAITH !

OBEY !

ファイト！

BE TRUE !

BE COMRADELY !

自分自身に取り組む

BE DISCREET !

BE TAPPER !

BE PROUD !

BE MERCILESS !

この十戒は、互いに密接に関係し、融合し、補完し合い、参照し合っている。最初の3つの戒め「信じよ！従え！戦え！」は、他のすべてのものがそこから派生する主要な要求であり、それらはすでに歴史的SAのブラウンシャツに同じ定式で適用されていた！

しかし、全体として、この十戒は、新しい世代の国家社会主義者の私たちの闘いから生まれ、またこの闘いの中で自らを証明したものである--それは過去の青臭いコピーではなく、現在の生活の現実である。

8年前から、再び新しいSAが誕生した。「政治的兵士の十戒」はその基本法であり、新しいブラウンシャツの生活を形作り、形成している。このような時代には、独自の伝統がすでに発展している。それは、たとえ古い形式に立ち返り、過去の闘いをその本質的かつ永続的な側面において継続するとしても、過去のテントの模倣では決してありえない。したがって、私は、この「政治的兵士の十戒」が、未来の世代の国家社会主義者の探究する目に、SAの伝統の新しい、第10の側面として、つまり、我々の民族の未来と発展のための終わりのない闘いの内なる貢献として現れることを期待している。ちょうど、ナチの禁止を克服する方法が、いつか茶シャツ軍の輝かしい歴史における我々の外なる貢献となるかもしれないように！

FAITH !

信仰は私たちの生業です！

人は本当に信仰を求めることができるのだろうか。信じることができるということは、人間の意志の力をほとんど無視することであり、人が何かを信じたり失ったりするのは、自分が望むか望まないかとはまったく無関係なことなのではないだろうか。

実際、国家社会主義者の考えを「信じる」ことはできないし、そうすべきでもない。それは宗教でもイデオロギーでもない：

国家社会主義とは、簡単に言えば、環境における人間の生物学的性質と目的を実現し、自分の小さな人生の快適さと幸福のためだけでなく、自然の秩序の実現のために働くという理想的な決意をするものである。このような新秩序のために戦うために、国家社会主義者は、自分たちを国家社会主義党に組織する。そして、この党は、すべての黨員、とりわけその政治的兵士に、3重の信仰を要求する：党への信仰、同志への信仰、自分自身への信仰である！そして、この要求される信仰は、あらゆる意味で意志の問題であり、それは「真実を保持する」行為ではなく、「信頼する」決意であるからである！信じよ！」という戒めは、イデオロギーやその他の主張が真実であることを要求するのではなく、政治的兵士に対して、もはや自

分の人生の中心を独立した希望の実現に見るのではなく、この人生を、そこから意味と価値を得る共同体に託すことを要求するのである！

党への信頼感：

党は、人民の組織された生きる意志であり、新秩序のために戦う共同体であり、党の中で、また党を通してのみ、新秩序が可能になる。だからこそ、国家社会主義者は、自分の人生を党に委ねるのです：彼は、多くの点で国家社会主義について自分の考えを持っているかもしれない-それは良いことであり正しいことでさえある-が、党については決して「正しい」ことはありえない。党は道を示し、国家の前衛であり、党に従う者だけが国家を実現することができる。党が常に正しいのはそのためである。すべての決定が常に正しくなければならないからではなく、目標が正しいからであり、党によって組織された仕事、党によって導かれた闘争がなければ、この目標は決して達成されないであろう！党がなければ、国家社会主義は、意味と一貫性を失った無数の知的サークルや政治的セクトに分解される。つまり、国家社会主義労働者と戦闘員の意志の集団的努力は、それぞれの新しい世代によって更新され、引き継がれ、最終的にブルジョア体制よりも強くなり、体制を克服し、新秩序を確立し、したがって、わが民族の生存とより高い発展を保証すると、心の隅々まで信頼している場合にのみ可能である！

仲間を信じること：

党は、管理機構ではない。それは、国家社会主義の労働者、闘士、指導者の生きた共同体であり、したがって、偉大な目標のために共に努力する、国家のすべての人々の精神的統一体である。この団結は、現在生きていて活動的な党の同志だけでなく、何百万人ものも死者も、そしてまだ来ていない我々の運動の世代も含んでいるのである。党への信頼-民族の組織的な前衛の必要性-は、したがって、同志への信頼、すなわち、同じ目標に満たされ、同じ献身をもって、党の枠組みの中で働き、戦う人々への信頼によって補完される！自分の無私な心、現世よりも大きく、現世よりも長い目標に自分の人生を捧げることは、それ自体で価値がある。理想主義者は常に、物質主義者よりも喜ばしい現象であり、最終的にはより幸福な人生を送る。しかしそれは、自分の同志が自分のそばに立ち、自分自身が病氣

や死、迫害や投獄、その他の理由でやめなければならなかった場所で、常に闘いを続けているという確信によってのみ、本当の意味を得る。私たちが、先に戦った同志たちの仕事と闘いを引き継ぐように、引き継ぐ同志が必ずいるからです。私たちは決して孤独ではない。たとえ良心の牢獄や流刑地という孤独な場所においても、私たちは常に、私たちよりも長生きし、やがて私たちの願い、目標、願望を実現する同志たちの生きた共同体の一部である。

自分を信じること：

党と共同体に完全に身を委ね、もはや自分のためではなく党のためになっている自分の人生を委ねるといふ決断は、すぐに下される。それを維持するためには、党と同志への信頼を失うことなく、同時に自分と自分の力への信頼も失ってはならない。信じている人は、自分が思っている以上に強いものである！

OBEY !

服従は我々の革命の偉大な美德である！

国家社会主義党は、組織された生きる意志として、またわが国の前衛として、黨員同志の信頼を主張する。しかし、その偉大な目標を達成できるようにするためには、これに続いて服従を要求する。すべての党の同志、とりわけ、政治的兵士は、党に、他の誰にも従わない。彼らは、命令の意味を理解しているかどうかにかかわらず、また、党の命令が自分の希望に対応しているかどうかにかかわらず、遠慮なく、全力を尽くしてそうするのである。政治家の兵士にとって、服従の義務は、自分の命を犠牲にするところまで行く：

卍の旗に忠誠を誓う者は、まだ自分のものであるものが何も残っていない！

政治的兵士は、ドイツ労働者階級の革命党に、二重の服従の義務を負っている：

政治的兵士の組織形態として、シュトルム・アブテイルングは、党の下部組織であり、また、依然として党の下部組織である。党と対等のパートナーとして向き合うのではなく、政治的には党の道具であり、組織的にはその政治的兵士の生命表現である。党に反対する政治的兵士を煽り立てる者、党を利己的な政治的思想を持つ独立した政治的要因とする者、党に忠実に仕え、それによってフォルクスゲマインシャフトを実現するのではなく、党の上や横に自分を置きたい者は、党の敵である！政治的兵士は、党とその指導者に従い、自分と党の間に楔が打ち込まれることを決して許さない！しかし、党内で、あるいは党とその下部組織の間で対立が生じた場合、個々の政治的兵士は、党とその指導者に直接従属する！政治的兵士は、党のバックボーンである。彼は、自分自身が壊されたり、反党的な行動に移されたりすることを決して許してはならない。党の存続と成功は、彼にかかっている！

しかし、原則として、政治家兵士にとって党を体現するのは直属の上司であり、その命令は死ぬまで実行しなければならない。しかし、党は、幹部に対する盲目的な服従を決して要求しない。「**国家社会主義者は、勝利のために服従する**」！

彼は自分自身で考えることができ、また考えるべきであり、国家社会主義について自分自身の個人的な理解を持っており、そこから提案やアイデアを述べるべきである。上司は、そのような提案やアイデアに対応し、それを実行するか、あるいは、なぜそれがこの方法あるいは現在では適用できないかを説明する義務がある。しかし、政治的兵士は、自分が単なる「大砲の餌」であって、党への信仰、党への服従、党のための闘争のみがもたらさう勝利のために共謀する同志の中の同志でないという感覚を決して持ってはならない！

自分の考えや提案が十分に聞き入れられない、あるいは行われた決定が党の考えや利益に反しているという印象を持った政治的兵士は、まず直属の上司に、さらに党やSAの上位の上司に相談に来た。しかし、ひとたび決定がなされ、命令が下されれば、政治的兵士はそれに従わなければならない、そのときは、全身全霊を傾けて自分を投入することになる。そうすれば、もう迷いはなく、遠慮もない！

政治家にとって最高権力者は党首である！党首が発言すれば、その問題は最終的に決定され、党の一般的な路線についてもはや疑う余地はない！

このように服従することを学んだ人だけが、自らリーダーやサブリーダーになるのに適しているのです：

従うことを学んだ者だけが、いつか命令を下すことができるようになる！

政治的兵士は、自分自身にも、同志にも、指導的同志の誰にでも、考え得るあらゆる形態の不規律を容認してはならない。彼は、党が、我々の革命的な戦闘共同体をブルジョアの豚小屋に退化させる芽を迅速かつ徹底的に摘み取ることができるように、それを報告する義務がある！

国家社会主義者：規律を学ぶ！服従せよ！そうすれば、勝利は我々のものだ！

ファイト！

闘争は政治的な兵士の生きがいである！

信仰と服従とともに、「戦え！」という戒めは、党が茶色のシャツを着た兵士に求める第三の主要な要求であり、また、実際に彼の人生を最も明確に形作り、兵士らしい人間を形成するものである。信仰と服従-それは党が他のすべての党员同志に要求するものであり、たとえ自分自身の生活に完全に浸透するような同じ結果でないとしても：単純な党员同志は、この精神のもとで、その両方を発揮して、自分の居場所で能力に応じて党のために働く。しかし、彼は、家族、職業、趣味、友人の輪など、生活態度において、多くの糸で元の生活と結びついたままである。彼は、これらすべてを党の仕事のために利用し、応用しようとするだろうが、結局は、ほとんど私生活の通常のルートに

とどまるだろう。

一方、政治的兵士は、最初の2つの戒めを、自分を国家社会主義革命の騎士にするための道のりの一里塚としてすでに理解しており、自分の私生活を完全に、この革命のために従属させるのである。この発展は、第3の要求で完結する。政治的兵士は、ついにそれまでの生活を捨て、革命のためだけに生きるのである：

国家社会主義労働者党の政治的兵士は、プロの革命家である。彼の人生は、体制に反対し、新秩序を求める闘いである。この闘いは、私的な利益や希望、家族や友人、職業や地位などには全く関係ない。政治的兵士は、自分自身のことを考えずに党の大義のために戦う。そうすることで、彼はすでに支配体制、その秩序、その法律や習慣と完全に決別している。このため、彼は迫害にさらされる。彼は迫害を自らも受け、牢獄をくぐり抜け、最終的にはすべてを、自分の命さえも犠牲にする覚悟がある！

政治家、職業革命家、革命騎士の人生は、たとえブルジョア的、物質主義的な基準を持つ外部の人間にはそう見えるとしても、苦しみと犠牲の連続であるとは想像できないはずです：

この闘争、ブルジョア世界との決別、新秩序への全面的なコミットメントは、必要性への洞察によって示された義務に対する文法的な忠誠の結果ではない。このような闘争的な生活を送るという決定は、命令されることもなく、圧力や強要の結果でもないのだ。政治的な兵士は、常に生贄の子羊や悲劇の人物のように感じているわけではありません。気分や経験によって、時折そのように感じることもある。しかし、心の奥底では、自分はそれ以外の生き方はできないし、それ以外の生き方はしたくないと思っているのである。シュトゥルム・アブテイルングは、徴兵されるような恣意的な小部隊ではありません。国家社会主義労働者党を特徴づける3つのタイプの人間のうちの1つ、兵士的人間、戦闘員の体現であり組織形態である！

そうでなければ、虚無、退屈、無意味が彼を圧倒し、窒息させてしまうからである！ブルジョア体制は、それゆえ、彼に何も与えず、彼を

墮落させることもできない。彼は、主に思想的知識からではなく、人生に対する感情から、それに対して免疫を持っている。したがって、闘士は、たとえこの人生が外部のブルジョワには外見上不幸に見えるとしても、闘争の中にのみ自分の人生の意味と幸福を見出すのである。もちろん、この闘争は、党に対する信念とその一般路線の実行に根ざして初めて、闘士自身の人生を超越した意味を持つようになる。政治的兵士は、自己に課した目標のために戦うのではなく、また自分と同類のためだけではなく、党の勝利のために戦うのであり、党は彼に目標を示し、党の路線を定めることによって彼に具体的な任務を与える！

今日の禁酒の時代において、問題は、NSDAPが、行動可能な革命の政治的前衛として、まだ再登場していないことである。したがって、現在の国家社会主義者の思想共同体の歴史において、当初は、この状態に対抗することによってのみ生きることが出来る過激派だけが集まっていた。そのような人々は、すぐにお互いを見つけ、すぐにお互いを認識した。彼らは嵐の分遣隊となったが、その分遣隊には、自分たちに属して道を示してくれる党がまだ欠けている。したがって、彼らは自分たちの任務を綱領の策定やイデオロギーの展開に見ることはなかった--彼らはただ具体的な言葉で闘争を取り上げたのである。そして、この闘いは、NS禁止令に反対し、NSDAPの新しい基礎を求める闘いでなければならなかった。そして、この新しいNSDAPだけが、政治的な方針を詳細に決定することができたのである。第一部で述べたように、この新しいSAは、その間に、実質的に国家社会主義運動をISとする共同体となった！今日、政治的兵士は、NS禁止令に反対し、NSDAPの新しい創設のために闘う彼を導く上司に従います。彼は、旧党の正当な相続人であり、新党の先駆者である我々の共同体が彼に与えた一般的な路線に従って闘います！

BE TRUE !

私たちの名誉は忠誠というものです！

これは、ヴァッフエン-SSの戦闘員の歴史的モットーであった。それは最終的にはすべての政治的な兵士に当てはまる：

名誉ある人-それは、自分の行動が自分の信念と調和しており、そこから生じる義務と結果を進んで確実に受け入れ、履行する人です。このような人は、同胞の目から見て尊敬に値し、自分を尊敬することができ、許され、名誉を保有する。将来の国家社会主義人民国家および国家社会主義運動一般において、われわれは、われわれの隊列において働き、戦うすべての者が、名誉を有する者であることを期待する。しかし、この名誉は、一回限りの決断によって得られるものではなく、自分の信念とそこから生じる義務に対する生涯にわたる忠誠によってのみ得られるものである！だからこそ、われわれの名誉は忠誠と呼ばれるのである。だからこそ、党は、他のすべての戒律に加えて、その政治的兵士に対して、自分の闘争と人生に対する態度を、自由に取り消すことができる一回限りの決定として理解するのではなく、その中に天命を認識し、生涯にわたって忠誠を尽くすべき名誉ある任務を認めることを要求しなければならないのである！

忠実であれ！」という戒めは、他のどんな戒めよりも、私たちの思想と運動の不滅性を保証しています：

第一部では、組織を禁止することはできても、思想は禁止できないし、何よりも思想に固執する人々を禁止できないこと、したがって、弾圧や禁止が運動を破壊するのではなく、人々の無関心と諦念だけが運動を破壊できることを指摘した。しかし、同志の忠誠心は、禁酒法よりも強く、無関心と諦観へのあらゆる誘惑を追い払う--しかも、数年間だけでなく、ずっと：政治的兵士の各世代（私たちはすでに3世代目ですが）は、思想と運動に対する忠誠心のおかげで、国家社会主義を未来に引き継ぐのです！今日、16歳や18歳の戦闘員として私たちに加わる人は、それ自身が次の50年の運動の道を支え、可能にする橋渡し役となるのです。そして、この忠誠心は、その後、適切なタイミングで次の世代の変化をも確保することになる：戦闘員の意志は、ブルジョワの体制よりも強い！しかし、政治家の信念と運動への忠誠において、この意志は日々新たに証明される！

信義則の戒律は確かに一番難しいですね：

熱狂の炎は、すべての人間に強い力を呼び起こす。しかし、特に戦士は、本来、冒険、力のテスト、男性的テスト、抵抗や敵の克服を楽しむものである。しかし、戦士の道は、やがて、苦しみ、犠牲、すべてのブルジョワの快適さと便利さの放棄、刑務所への道、そしておそらく死への道であることが判明する。そして、この道は、一度だけの努力で極めることはできず、毎年、10年、10年と闘い続けなければならない。このことが個人にとってどのような意味を持つかは、我々のコミュニティの戦闘的なエリートに属する者だけが判断できる！

1923年11月9日の蜂起が失敗し、党が禁止されたとき、NSDAPの古参幹部はそうした。それは、400人の血の証人にもかかわらず、闘争の第一期の茶シャツが行ったことであり、全世界がドイツを破壊しようとしたときに自ら犠牲となったヒトラーユーゲントの英雄たちが行ったことである；戦後ドイツが破壊され、ドイツの復活や国家社会主義の新たな勝利の希望さえも不可能と思われたとき、帝国戦線の政治的兵士たちが行ったことであり、未来への唯一の展望が信仰者の消滅にあると思われた長い夜の間、不動の国家社会主義者が行ったことである！そして今日、WEは信仰者を守り続けている-すでにいくらか良い状況にあり、新しい始まりへの展望も広がっているが、依然として困難で、ほとんど絶望的な状況にある。私たちの運動の歴史は、なんという英雄的な歌なのでしょう！

そうです。今日、一部の人々の心の中にしか存在しない太陽が、いつの日かドイツとヨーロッパに再び輝きを取り戻し、私たちの旗が再び自由に風になびく日まで、私たちはどんなことがあっても忠誠を誓い続けます！



NS KAMPFRUF
KAMPFGRUPPE DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 26. April 2017 02.00

Der Kampf geht weiter !

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da zu sehen in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenstab, Vorhut, Verfügung und Volkshilfen haben nicht nur erreicht, das Land der gesunden Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu erobern.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Völkler- und Rassenmenschen als bisher zu schädel im Kampf um die Erlangung unserer vollen Freiheit.

Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Gefahr des hochgeliebten Volkstums ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist es, Adolf, den Volkstums - gegen alle wahren Völkler (V) - zu bringen. Seine Mittel sind Erziehung, Überführung und Kampferziehung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenstab, ob im Propagandastab, bewacht oder auf einem Schießfeld, andere Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hilf Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増産期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER
Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hilf Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!